

### 次期(2010年3月期)の業績の見通し

(2009年5月現在)

わが国経済は、世界経済が後退を示す中で、期の前半は引き続き輸出の減少、円高の影響や販売不振により企業収益の低下が懸念され、雇用の悪化や個人消費が低迷する見込みで、低調に推移すると思われませんが、期の後半には米国経済の回復に合わせて、輸出も改善に向かい緩やかに回復軌道を進むものと見ております。アジアでは中国の景気回復が期待されます。米国においては、金融環境の悪化により企業の生産、在庫、雇用調整等の長期化や個人消費の低迷等により景気後退の深刻化と長期化が懸念されますが、金融再生プランの実行や大規模な財政出動により、期の後半には経済は徐々に回復に向かうと予想されます。

このような状況の中で、正確な業績予測が困難なため、売上、利益共に上限、下限と幅を持った予測としております。売上は世界的に厳しい経済環境を考えるとその減少は避けがたく、対前期比で78%~90%程度を見込んでおります。営業利益は対前期比で75%~104%程度を見込んでおります。現状の経済環境下での業績の飛躍的な改善は困難と判断しておりますが、一層のコスト削減や製品の高付加価値化及び新規市場の開拓に努め、世界的な経済環境の回復期に更なる飛躍をするべく準備を進める所存です。

機械加工品事業セグメントにおいては、主力製品であるボールベアリングは、自動車業界・情報通信機器関連業界等への積極的な拡販を進め、拡販に伴う量産効果と更なるコスト削減により、一層の業績向上を図ります。また、米国・欧州を中心に航空機市場が比較的堅調であり、ロッドエンドベアリングは、この恩恵を受けることが期待できます。当会計年度に買収を行い傘下におさめた、医療機向け等の特殊ベアリングが加わることで売上の増加が見込まれます。ピボットアッセンブリーも顧客の在庫調整がほぼ終了する見込みであり、期の後半には需要が回復するものと見込んでおります。

電子機器事業セグメントにおいては、情報モーター事業は、引き続き生産効率改善、及び製品構成の見直しを行い一層の業績向上に努めますが、需要の回復は期の後半を見込んでおります。当会計年度に事業買収を行い傘下におさめた、マイクロアクチュエータ事業が加わることで売上の増加が見込まれます。スピンドルモーター事業は、コスト削減の推進と、2.5インチモデルの販売引き上げ等により業績の改善を図ります。また、キーボード事業は品質の高い高価格品モデル等に注力することで業績の改善を図ります。スピーカー事業は事業構造改革を完了しており、効果が期待できます。液晶用バックライト、インバーター及び計測機器他も拡販により売上の回復を目指しますが、回復は期の後半を見込んでおります。

以上の状況を踏まえて、2009年5月現在の2010年3月期業績見込みとしては、売上高は2,000~2,300億円、営業利益は100~140億円、当期純利益は35~65億円と予想しております。

### 事業等のリスク

当社グループの経営成績及び財政状態等に影響を及ぼす可能性のあるリスクを次のように考えております。なお、文中の将来に関するリスクは、有価証券報告書提出日(2009年6月26日)時点において、当社グループが判断したものであります。

#### (1)市場環境

PC及び周辺機器、情報通信機器、家電を中心とする当社製品の主要市場は、国内外において競争が非常に激しく、需要が大きく変動するため、経営成績及び財政状態等に悪影響を及ぼす可能性があります。

#### (2)為替変動

当社グループは海外売上高比率及び海外生産高比率が高いため、為替相場の変動によるリスクがあります。このため為替予約を中心とするリスクヘッジ取引を行っておりますが、長期的には為替変動により経営成績及び財政状態等に悪影響を及ぼす可能性があります。

#### (3)研究開発

新規製品・高品質製品を市場に継続的に投入する必要があるため研究開発を行っておりますが、研究開発の成果は不確実なものであり、多額の支出を行ったとしても必ずしも成果に結びつかないというリスクがあります。

#### (4)重要な訴訟等について

国内及び海外事業に関連する訴訟等の対象となるリスクについては、法務部が一括して管理しております。将来、重要な訴訟等が提起された場合には当社グループの経営成績及び財政状態等に重要な悪影響を及ぼす可能性があります。

#### (5)価格交渉

海外製の低価格製品との価格競争は大変厳しいものとなっており、低品質、低価格のニーズを持つ市場では市場シェアを維持・拡大できない可能性があります。

#### (6)原材料費・物流費等のコスト

外部からさまざまな原材料等の調達を行っており、在庫量の最適化、安定供給と安定価格の継続をはかっておりますが、原材料等の価格上昇が経営成績及び財政状態等に悪影響を及ぼす可能性があります。

#### (7)海外進出に潜在するリスク

当社グループの生産の多くは、タイ、中国、シンガポール等海外で行われております。海外進出後、長期間が経過し、地場との融合が行われておりますが、予期しない法律又は規制の変更、人材の採用と確保の難しさ、テロ・戦争及びその他の要因による社会的混乱といったリスクが内在しております。